

2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 山喜株式会社
 コード番号 3598 URL <https://www.e-yamaki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白崎 雅郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長補佐 (氏名) 須知 克行 TEL 06-6764-2211
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	15,355	0.3	94		141		76	
2019年3月期	15,409	8.3	368		253		308	

(注) 包括利益 2020年3月期 33百万円 (%) 2019年3月期 294百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	5.41	5.39	1.2	1.0	0.6
2019年3月期	21.67		4.8	1.8	2.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	14,945	6,493	43.3	456.34
2019年3月期	14,457	6,486	44.7	457.15

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,465百万円 2019年3月期 6,463百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	389	195	633	1,003
2019年3月期	108	250	51	940

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		2.00	2.00	28		0.4
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(注)2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	14,950,074 株	2019年3月期	14,950,074 株
期末自己株式数	2020年3月期	781,883 株	2019年3月期	810,983 株
期中平均株式数	2020年3月期	14,160,856 株	2019年3月期	14,244,904 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,926	1.4	58		93		7	
2019年3月期	13,731	8.5	420		304		358	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.55	0.55
2019年3月期	25.14	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	14,066		6,749		47.9		475.37	
2019年3月期	13,569		6,785		49.9		478.64	

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,735百万円 2019年3月期 6,767百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定いたします。なお、詳細につきましては、添付資料P3「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し.....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、消費税増税の影響に伴う内需の減少が見られたうえに、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による需要の減少や、米中貿易摩擦の長期化による世界経済の減速等から、国内景気の先行きは厳しい状況となっております。

当社が属するアパレル業界におきましては、働き方改革に伴う社会構造の変化や衣料品に対する消費者の購買行動の多様化と、低価格志向への対応が求められており、企業間競争は激しさを増しております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、夏物商戦の前半は冷夏等の影響により苦戦したものの、ビジネススタイルのカジュアル化により、シャツがトップスになる機会が増え、ニット素材の超形態安定シャツやレディースシャツが好調に推移しました。一方下半期は、消費税増税による消費マインドの落ち込みや、相次いで上陸した台風などの自然災害や暖冬の影響で秋冬物商戦が低調に推移するなど、衣料品販売にとっては非常に厳しい状況が続きましたが、コスト低減や経費削減の効果も表れ、春夏物商品の投入も3月の気温が比較的暖かかったこともあり、比較的スムーズに推移しました。新型コロナウイルス感染拡大により、一部の店舗で催事の延期や中止等の影響を受けましたが、当連結会計年度に与える影響は軽微で済みました。

この結果、当社グループの当連結会計年度における連結売上高は153億55百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は94百万円（前年同期は3億68百万円の損失）、経常利益は1億41百万円（前年同期は2億53百万円の損失）となりました。当期の業績及び今後の業績見通しが不透明なことを踏まえて繰延税金資産の回収可能性を検討し、法人税等調整額66百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は76百万円（前年同期は当期純損失3億8百万円）となりました。

事業セグメントごとの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

国内販売

国内販売セグメントは上述の要因により、売上高140億1百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益53百万円（前年同期は4億21百万円の損失）とセグメント利益の額は大きく改善しました。

製造

製造セグメントにおいては、中国（上海）工場の生産効率の悪化により、売上高は34億80百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益49百万円（前年同期比20.1%減）と減収減益となりました。

海外販売

海外販売セグメントにおいては、カジュアル商品の受注減から売上高は2億7百万円（前年同期比25.5%減）、セグメント損失7百万円（前年同期は2百万円の利益）と減収減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は149億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億87百万円増加いたしました。この主な要因は製品在庫が増加したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は84億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加いたしました。この主な要因は流動負債の短期借入金、固定負債の長期借入金が増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより64億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュフローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、10億3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

当連結会計年度において営業活動の結果支出した資金は、3億89百万円となりました（前年同期は1億8百万円の収入）。これは主にたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

投資活動の結果支出した資金は、1億95百万円となりました（前年同期比21.8%の減少）。これは主に一部定期預金の期間を長期に変更したことによって、現金同等物と見なされなくなったことなどによるものであります。

財務活動の結果得た資金は、6億33百万円となりました（前年同期は51百万円の支出）。これは主に借入金が増加したことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況が続くものと予測されています。政府による緊急経済対策が計画されているものの、企業収益の低下による雇用環境の悪化、個人消費の低迷による業績の下振れは避けられない状況です。

このような状況下、当社グループは、国内販売におきましては、営業企画一体型の提案によるOEM・ODM受注拡大や、量販店のドレスコンセ店舗の拡大と百貨店のコーナー展開の売場確保により、当社が消費者に直接販売できる売場を増やすなど、売上拡大やシェア拡大を目指してまいります。インターネット販売については山喜公式サイトを構築を行い、インターネットで発注しやすいシンプルな画面の設計、ネット販売専用のオリジナルブランドの商品開発を強化し、売上・利益の拡大を図ってまいります。

製造セグメントにつきましては、コスト削減と生産効率のアップで収益を確保するとともに、ニュービジネススタイルに対応したシャツ以外のアイテムの開発を強化するとともに、政府の要請により受注した新型コロナウイルス感染防止の医療用ガウンやシャツ生地を使用したマスクなどの新商品の生産にもチャレンジしてまいります。

海外販売につきましては、中国やアセアン地域の受注強化を図り、低価格の生産背景を活かした大手アパレルや大手小売店との直接貿易も含めた連携を強化して参ります。

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不明な現時点においては、業績見通しを合理的に算定することが困難なことから、2021年3月期の連結業績予想については未定とさせていただきます、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 新型コロナウイルス感染症に係る事業等のリスク

①感染症長期化による当社グループのリスクについて

前述の「(4) 今後の見通し」のとおり、感染症の収束は現時点では不明であり、政府の緊急事態宣言が継続された場合、大型ショッピングセンターや百貨店などの主要取引先の店舗や施設の休業が当社に及ぼす影響は甚大であります。

当社は現状では、感染症の上記の影響は概ね2021年3月期第2四半期までには解消し、第3四半期から第4四半期にかけて回復軌道に乗るというという前提に基づいて当期の業績や今後の業績見通しを試算しておりますが、感染症の影響が長期化した場合は、収益が減少する可能性があります。

また、2020年3月末時点において手元流動性の現金及び預金の確保やコミットメント型の融資枠の設定や当座貸越の枠の新たな設定を予定しておりますので、短期間での手元流動性への問題は生じないと考えております。

②従業員の感染リスクと事業継続について

当社グループにおいては、社内外への感染防止と従業員の健康と安全を確保するため、在宅勤務と時差出勤を実施しております。しかしながら、従業員が新型コロナウイルスに感染し、社員の間で感染が拡大した場合には、工場における生産業務や物流センターの出荷業務に支障をきたし、操業を停止する可能性があります。

③サプライチェーンの途絶のリスクについて

当社グループは、生産拠点や原材料調達地域の分散化を進めてまいりましたが、一部原材料は特定の地域や取引先に依存しており、供給が困難になる可能性があります。当社としては、一定在庫を確保しリスク低減に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の大半は国内の株主、債権者、取引先であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,737,180	1,940,381
受取手形及び売掛金	2,572,346	2,771,511
製品	4,345,226	4,895,121
仕掛品	123,378	98,874
原材料	351,255	355,512
その他	912,850	676,871
貸倒引当金	—	△610
流動資産合計	10,042,239	10,737,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,139,753	1,083,712
機械装置及び運搬具(純額)	140,065	129,612
土地	2,072,996	2,062,751
その他(純額)	146,442	132,644
有形固定資産合計	3,499,257	3,408,720
無形固定資産		
借地権	353,623	353,295
リース資産	100,940	77,545
その他	112,008	98,504
無形固定資産合計	566,572	529,345
投資その他の資産		
投資有価証券	101,916	73,264
繰延税金資産	191,252	135,792
その他	56,938	62,931
貸倒引当金	△308	△1,861
投資その他の資産合計	349,799	270,127
固定資産合計	4,415,629	4,208,192
資産合計	14,457,868	14,945,855

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,519,968	1,454,336
短期借入金	2,354,773	2,609,910
1年内返済予定の長期借入金	919,027	725,098
未払法人税等	40,099	53,742
賞与引当金	144,116	13,700
返品調整引当金	246,000	247,000
その他	905,871	853,262
流動負債合計	6,129,858	5,957,049
固定負債		
長期借入金	1,382,461	2,064,181
再評価に係る繰延税金負債	156,809	156,809
退職給付に係る負債	149,385	163,401
その他	153,024	110,726
固定負債合計	1,841,681	2,495,119
負債合計	7,971,539	8,452,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,355,227	3,355,227
資本剰余金	2,887,540	2,887,563
利益剰余金	49,087	97,478
自己株式	△163,970	△158,086
株主資本合計	6,127,886	6,182,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,900	6,163
繰延ヘッジ損益	9,953	10,912
土地再評価差額金	185,741	185,741
為替換算調整勘定	92,469	90,006
退職給付に係る調整累計額	22,783	△9,446
その他の包括利益累計額合計	335,847	283,376
新株予約権	17,848	14,530
非支配株主持分	4,746	13,595
純資産合計	6,486,329	6,493,686
負債純資産合計	14,457,868	14,945,855

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	15,409,586	15,355,992
売上原価	11,546,802	11,300,835
返品調整引当金繰入額	55,000	1,000
売上総利益	3,807,783	4,054,157
販売費及び一般管理費	4,176,570	3,959,206
営業利益又は営業損失(△)	△368,786	94,950
営業外収益		
受取利息	6,935	6,218
仕入割引	11,135	8,606
助成金収入	7,945	814
為替差益	108,496	56,846
前受金取崩益	21,795	27,009
その他	29,732	24,577
営業外収益合計	186,040	124,073
営業外費用		
支払利息	50,489	51,350
支払手数料	5,445	9,785
その他	14,651	16,572
営業外費用合計	70,586	77,708
経常利益又は経常損失(△)	△253,332	141,315
特別利益		
投資有価証券売却益	2,432	-
固定資産売却益	3,273	43,567
特別利益合計	5,706	43,567
特別損失		
為替換算調整勘定取崩損	6,032	-
固定資産除売却損	2,341	3,005
投資有価証券評価損	-	2,985
特別損失合計	8,374	5,991
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△256,000	178,892
法人税、住民税及び事業税	48,718	27,481
法人税等調整額	18,214	66,598
法人税等合計	66,932	94,080
当期純利益又は当期純損失(△)	△322,933	84,812
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△14,226	8,142
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△308,707	76,669

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△322,933	84,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,300	△18,737
繰延ヘッジ損益	80,754	959
為替換算調整勘定	△47,864	△1,756
退職給付に係る調整額	16,026	△32,230
その他の包括利益合計	28,615	△51,765
包括利益	△294,317	33,046
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△279,569	24,197
非支配株主に係る包括利益	△14,747	8,849

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,355,227	2,887,467	430,077	△76,495	6,596,276
当期変動額					
剰余金の配当			△72,282		△72,282
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△308,707		△308,707
自己株式の取得				△88,000	△88,000
自己株式の処分		73		525	599
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	73	△380,989	△87,474	△468,390
当期末残高	3,355,227	2,887,540	49,087	△163,970	6,127,886

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	45,201	△70,801	185,741	140,135	6,757	307,033	14,507	19,494	6,937,312
当期変動額									
剰余金の配当									△72,282
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)									△308,707
自己株式の取得									△88,000
自己株式の処分									599
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△20,300	80,754	—	△47,665	16,026	28,814	3,340	△14,747	17,407
当期変動額合計	△20,300	80,754	—	△47,665	16,026	28,814	3,340	△14,747	△450,983
当期末残高	24,900	9,953	185,741	92,469	22,783	335,847	17,848	4,746	6,486,329

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,355,227	2,887,540	49,087	△163,970	6,127,886
当期変動額					
剰余金の配当			△28,278		△28,278
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			76,669		76,669
自己株式の処分		23		5,883	5,906
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	23	48,391	5,883	54,297
当期末残高	3,355,227	2,887,563	97,478	△158,086	6,182,183

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	24,900	9,953	185,741	92,469	22,783	335,847	17,848	4,746	6,486,329
当期変動額									
剰余金の配当									△28,278
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)									76,669
自己株式の処分									5,906
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△18,737	959	—	△2,463	△32,230	△52,471	△3,317	8,849	△46,940
当期変動額合計	△18,737	959	—	△2,463	△32,230	△52,471	△3,317	8,849	7,357
当期末残高	6,163	10,912	185,741	90,006	△9,446	283,376	14,530	13,595	6,493,686

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△256,000	178,892
減価償却費	213,475	202,379
受取利息及び受取配当金	△10,535	△9,293
支払利息	50,489	51,350
有形固定資産除売却損益(△は益)	△932	△40,562
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,432	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,985
売上債権の増減額(△は増加)	550,024	△196,608
たな卸資産の増減額(△は増加)	△154,554	△527,219
為替換算調整勘定取崩額	6,032	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△85,781	△62,353
未収入金の増減額(△は増加)	△132,856	154,994
その他	△151,171	△88,372
小計	25,757	△333,807
利息及び配当金の受取額	10,521	9,304
利息の支払額	△49,344	△51,459
供託金の支払額	175,000	—
法人税等の支払額	△53,328	△13,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,605	△389,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△92,177	△140,067
有形固定資産の取得による支出	△159,410	△103,791
有形固定資産の売却による収入	9,299	71,998
無形固定資産の取得による支出	△11,200	△22,648
投資有価証券の取得による支出	△1,396	△1,332
投資有価証券の売却による収入	4,332	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,551	△195,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	469,976	214,930
長期借入れによる収入	600,000	1,734,900
長期借入金の返済による支出	△920,781	△1,247,109
配当金の支払額	△72,282	△28,278
自己株式の取得による支出	△88,000	—
その他	△40,202	△41,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,289	633,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,416	14,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△215,651	63,133
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,008	940,356
現金及び現金同等物の期末残高	940,356	1,003,490

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容により、国内で販売事業を行う「国内販売」、専ら製造事業を行う「製造」、海外で販売事業を行う「海外販売」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントごとの事業内容は下記のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な事業内容
国内販売	日本国内におけるドレスシャツ、カジュアルウエア、レディースシャツの販売事業及びそれに付随する物流事業、不動産賃貸事業
製造	国内、海外におけるドレスシャツ製造事業
海外販売	海外におけるドレスシャツ、カジュアルウエアの販売事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は損失(△)ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,831,076	1,455,293	123,215	15,409,586	—	15,409,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,588	2,117,699	155,543	2,284,831	△2,284,831	—
計	13,842,664	3,572,993	278,759	17,694,417	△2,284,831	15,409,586
セグメント利益(△は損失)	△421,285	61,424	2,357	△357,503	△11,283	△368,786
セグメント資産	12,505,538	2,646,454	109,128	15,261,121	△803,253	14,457,868
セグメント負債	6,946,339	2,312,311	14,441	9,273,092	△1,301,553	7,971,539
その他の項目						
減価償却費	175,214	38,771	319	214,305	△830	213,475
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	287,439	69,116	81	356,637	△13,055	343,582

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,990,427	1,254,126	111,438	15,355,992	—	15,355,992
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,509	2,226,259	96,180	2,333,949	△2,333,949	—
計	14,001,937	3,480,386	207,618	17,689,941	△2,333,949	15,355,992
セグメント利益 (△は損失)	53,914	49,091	△7,674	95,331	△380	94,950
セグメント資産	12,850,872	2,598,685	95,186	15,544,744	△598,889	14,945,855
セグメント負債	7,495,488	2,179,376	8,526	9,683,391	△1,231,222	8,452,168
その他の項目						
減価償却費	163,386	39,637	116	203,140	△761	202,379
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	61,100	34,615	—	95,715	—	95,715

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,694,417	17,689,941
セグメント間取引消去	△2,284,831	△2,333,949
連結財務諸表の売上高	15,409,586	15,355,992

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△357,503	95,331
セグメント間取引消去	△11,283	△380
連結財務諸表の営業利益	△368,786	94,950

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	15,261,121	15,544,744
全社資産 (注)	835,622	933,721
セグメント間取引消去	△1,638,875	△1,532,610
連結財務諸表の資産合計	14,457,868	14,945,855

(注) 全社資産は、主に親会社での余資運用 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 等であります。

(単位: 千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,273,092	9,683,391
セグメント間取引消去	△1,301,553	△1,231,222
連結財務諸表の負債合計	7,971,539	8,452,168

(単位: 千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	214,305	203,140	△830	△761	213,475	202,379
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	356,637	95,715	△13,055	—	343,582	95,715

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	457.15円	1株当たり純資産額	456.34円
1株当たり当期純損失(△)	△21.67円	1株当たり当期純利益	5.41円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	5.39円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	6,486,329	6,493,686
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	22,595	28,126
(うち新株予約権(千円))	(17,848)	(14,530)
(うち非支配株主持分(千円))	(4,746)	(13,595)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	6,463,734	6,465,560
普通株式の発行済株式数(千株)	14,950	14,950
普通株式の自己株式数(千株)	810	781
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	14,139	14,168

(2) 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△308,707	76,669
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は普通株式に係る親会社 株主に帰属する当期純損失(△)(千 円)	△308,707	76,669
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,244	14,160
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整 額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	76
(うち新株予約権(千株))	—	(76)
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。

以上